

『恵みのわざに富む者に』 コリント人への手紙第二 8章1～9節 2016.6.12(礼拝説教より)

『あなたがたは、私たちの主イエス・キリストの恵みを知っています。すなわち、主は富んでおられたのに、あなたがたのために貧しくなられました。それは、あなたがたが、キリストの貧しさによって富む者となるためです。』 II コリント 8:9

◆パウロが、困窮するエルサレム教会のために支援を呼びかけると、マケドニアの諸教会が積極的に応じた！彼らは『…激しい試練…極度の貧しさにもかかわらず…喜びに満ち溢れ…惜しみなく施した…(2～3節)！』という。なぜ彼らは苦しく貧しくても捧げられたのか？ここで聖書は、献金のことを「恵み(1,6,7節)」と呼ぶ。持っている、いないに関わらず、私たちが何かを捧げることが出来るのは、神からいただいている恵みを日々実感し、喜び、感謝していればこそだと！その捧げもの全てが、神からの恵みの賜物…お金も、時間も、能力も、家庭も…だと知れば、捧げるものが何もない…とは言えない！私たちが神からいただく最大の恵みは『**罪からの救い**』である！イエス様だけが私たちを、高く聖なる御国へ引き上げてくれる「神の恵みの飛行機(鈴木正久師説教より)」である。とにかく、まずはこの恵みの飛行機に乗り込むことである！この世のどんな試練も不安も、この方と共にあれば飛び越えられる！

◆どんなに貧しくとも捧げられる第二の理由は『聖徒たちを支える交わりの恵みにあずかりたいから(4節)』だという。「交わりの恵み」とは、神からいただいた恵みの賜物を、捧げた人と受けた人が、共に喜ぶこと。例えばギデオン協会への献金！ある自殺願望の高校3年生の証！「嫌々受け取った聖書を、渋々開いた時、『**光の中を歩みなさい**』との言葉が目飛び込んだ！固く閉ざしていた心を誰かが叩き、真っ暗だった心が明るく照らされ…受洗に導かれた！」などと聞けば、捧げた者も受け取った者も、共に神の恵みに感動し、感謝し、聖名を崇める！この「交わりの恵み」を知れば、喜び捧げたくなるもの！

◆しかし私たちが捧げる最大の理由は9節(上記の御言葉)にある。キリストは、聖く輝く天の栄光と絶対的な主権を投げ捨てて、罪と汚れと不信仰に満ちた世に来られた。それは悪魔と罪の奴隷だった貧しき私たちを、栄光と永遠の豊かさの中へ招き入れるため！神であられるキリストは、十字架の辱めを喜んで耐え忍ばれて、信じる者に神の栄光の富を与えられる。自分の才能、自分の成功、自分の幸せにしがみつく者はそれを失い、神と社会、人のためにその恵みを使う人は、さらに与えられて豊かに祝福される！

★今週、全てが神からいただいた恵みであることと、日々生かされている喜びを知り、たとえわずかなものでも、誰かと分け合う幸せを実感する1週間としたい！